

謹んで新年のお祝いを申し上げます。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

読者の方も耳にしていると思いますが、「2025年問題」があと1年に迫っています。  
この「2025年問題」とは、団塊世代全員が75歳以上、後期高齢者になることで、色々な不具合が生ずると予測されます。

団塊世代とは、第一次ベビーブーム(昭和22年から24年)に生まれた世代で、昭和22年:約268万人。昭和23年:約268万人。昭和24年:約270万人。3年間の合計出生数は、約806万人になります。

「2025年問題」は、下記の3点が特に問題と考えられています。

#### 記

- ①社会保障費(医療費や介護費など)の負担増大。
- ②後期高齢者、認知症高齢者の増加により、医療・介護体制の維持が困難。
- ③後継者不足による廃業がもたらす雇用とGDPの喪失。

国及び地方行政も、この問題点に対し、色々な施策を考え実行していますが、全て解決とはいかないのが現実です。

「2025年問題」の対策で重要なことは、各個人が出来ることから始めることです。人間は、年を重ねることを止めることはできませんが、ひとり一人が健康に注意し、元気寿命を延ばすことで、社会保障費の抑制に繋げる可能性があります。

ご自身が元気な内に、自分の将来プランを真剣に考え、どこで生活し、誰がサポート役を引き受け、医療・介護に備えられるのか。

ご家族にとって、あまり触れたくない話題ではありますが、大きなアクシデントが発生した場合に後悔しないためにも、早めに話し合うべきとアドバイス致します。

尚、第1回及び第2回東京セミナー来場者他から、引き続き勉強会方式のセミナー開催を要望されており、来春の令和6年3月26日(火)第3回東京セミナーを東京駅に近いAP八重洲ビル内にてAM10:30開始をお知らせ致します。

予定テーマは、「認知症について」「ホーム見学及び体験入居のポイント」「なんでも質問コーナー」で、詳細については、ホームページや新聞広告等でお知らせ致しますので、ご検討よろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 千代田健康開発事業団  
介護付有料老人ホーム ラビドール御宿  
入居相談室 0120-122-602  
(財団本部)東京入居相談室  
0120-605-107

